

年 譜

明治 6	児玉郡長幡小学校備付文庫設置(小学校備付文庫の始め)
明治 7	学校改正局備付図書「閲覧規則」(全6条)公布
明治 8. 9	書籍館県立学校地内に設置決まる
明治 9.12.11	浦和書籍館開設「借覧心得規則」公布
明治13	文部省より文部省出版図書の寄贈方申請認可される
明治14.12	「県学校幼稚園書籍館設置廃止規則」制定
明治14	大徳周乗他会員組織による大我井文庫が入間郡森戸村に設立
明治15	書籍館経費が師範学校費の一部より支出されるようになる
明治17	浦和書籍館の年間入館者が44名に下がる
明治19	浦和書籍館廃館
明治20	大里郡花園村黒田支部青年会備付文庫設立(青年会文庫の始め)
明治42. 9. 7	「県通俗巡回文庫規程」制定 同時に「県告諭」(第1号)発す
大正 3. 1	通俗巡回文庫廃止、以後郡教育会がこれを継承
大正 9	この頃県下図書館数38館となる
大正10	県教育会に図書館設立補助費(15,000円)交付を県会で議決
大正11. 5. 1	県教育会は図書館長に県社会課社会教育主事平野孝氏を委嘱
大正11. 5	県庁内の一部で図書購入などの開館事務を開始
大正11. 6	県教育会が基本図書選定委員14名を委嘱
大正11. 9.26	北足立郡役所内の工区員出張所跡地に図書館設置の件を開申
大正11.10. 1	県教育会立埼玉図書館開館 「埼玉図書館々則」を制定(本館の始まり)
大正11.10.11	携出閲覧を開始する。野本英二氏本館へ図書を寄贈
大正11.10.25	県庁前に図書館用広告立札を立てる
大正11.10.27	郡役所東南隅に「図書館入口」の標識を立てる
大正11.10.28	図書選定委員早川社会課長、森山学務課長等来館し、図書選定す
大正11.11. 1	木原元三氏エブリマンズライブラリィ100冊本館へ寄贈
大正11.11.18	飯野喜四郎氏ブリタニカ27冊本館へ寄贈
大正11.11.19	川越にて帝国図書館長松本喜一氏講演「社会教育及図書館」
大正11.12.11	浦和駅前に新刊図書紹介箱、掲示立札を設置(10月24日出願)
大正12. 1.12	県教育会評議会で図書館に関する協議が行なわれる
大正12. 2. 4	女子師範学校で第1回「子供大会」を開催、700名参会
大正12. 3.26	図書選定委員会開催
大正12. 4. 1	県下小学校備付文庫111、青年団備付文庫100、処女会備付文庫17、公共図書館73となる
大正12. 5. 6	子ども会を浦和町恭慶館で開催
大正12. 5.10	関根綱紀氏広文庫を本館へ寄贈
大正12. 5.13	文部省図書館講習所講習生及び修了生本館を見学
大正12. 6. 5	「大正12年度埼玉図書館概要」発刊(～昭和3年度まで年刊)
大正12. 7.13	第1回県下図書館長会議を県会議事堂で開催この時埼玉県図書館協会が創立され、事務所を埼玉図書館に置く(73館加入)
大正12. 7.14	県下図書館長が館内を視察
大正12. 7	県立図書館を旧女子師範学校跡に設置する旨臨時県会で議決(校舎模様替並書庫一棟増築費33,774円)
大正12. 8.12	林間図書館を浦和小学校で開催150名参会
大正12. 9. 1	大地震で書架が倒れ、壁が落ちるなど被害を受け数日休館
大正12.10.31	罹災児童慰安会を浦和劇場で開催 1,300名参会
大正13. 3.10	埼玉県立埼玉図書館設置が文部大臣より認可される
大正13. 3.22	県立埼玉図書館設置と「館則」を県報に告示
大正13. 3	県内図書館94(公立83、私立11) 東宮御慶事記念事業として設立数激増(前年設置比数29館の増加)

大正13. 4. 1	埼玉県立埼玉図書館開館本館「処務規程」(訓令第10号)並びに「閲覧規程」(告示第145号)制定 県は館長に前教育会立図書館長平野孝の任命を文部省に上申
大正13. 4.25	本館「処務細則」を制定
大正13. 6.14	女子師範学校講堂にて県立後初の「子ども会」を開催 600名参会
大正13. 6.15	帝国図書館長松本喜一氏来館
大正13. 6.20	県下図書館長会議が県会議事堂で開催され、前帝国図書館長和田万吉氏が講演をする(21日来館)
大正13. 8. 1	本館舎となる旧女子師範学校の校舎改装に付 調査研究
大正13. 8. 4	県主催県下「図書館講習会」が男子師範学校で開催され、本館員も講師として出向(～8月6日)
大正13. 8.14	前県知事兼県教育会長堀内秀太郎氏、大日本文化協会叢書95冊を本館へ寄贈
大正13. 8.16	県下12か所で林間図書館開催 閲覧者3,385名(～9月26日)
大正13.10. 3	本館々長平野孝は高等官七等待遇となり県立図書館長に補せられる(官報)(～14年7月22日)
大正13.12	図書委任貸付事務開始
大正14. 1	「委任貸付図書目録」刊行(追加8冊、昭和12年まで)、試験的に第1回貸付を実施
大正14. 2.22	第1回埼玉県図書館デー 本館では講演会「作家と生活」(久保田万太郎)を師範学校講堂で開催 200名参会
大正14. 2	本館職員県下の図書委任貸付の状況視察 「家庭向及児童向新刊良書目録」を刊行
大正14. 2	利用者の愛読書投票の結果「国民小訓」「啓吉物語」等が選ばれる
大正14. 4. 1	図書の委任貸付事業が本格的に開始される
大正14. 4.18	本館舎の様様替工事完了し、移転準備のため臨時休館に入る
大正14. 5. 4	内務部長来館し、新装館内を縦覧す
大正14. 5. 5	新館にて閲覧を再開(館内閲覧人 500人以上)
大正14. 6.21	子ども会開催(7～800名参会)
大正14. 6.27	館長室にて婦人閲覧者の会合開催
大正14. 7.22	平野孝館長、本日付をもって津市立高等女学校長兼教諭に補され、後任として本県書記官学務兼社会課長早川三郎館長事務取扱を命ぜられる(～同年9月17日)
大正14. 8. 4	県下17か所で林間図書館開催(～9月4日)
大正14. 8.10	図書館講習会を女子師範学校講堂で開催(～11日)96名参会
大正14. 9.13	東京日比谷図書館職員20名本館を視察
大正14. 9.17	館長事務取扱早川三郎、香川県書記官・警察部長に栄転
大正14. 9.21	本県社会課社会教育主事小川竹次郎、館長事務取扱を命ぜられる(～昭和1年12月31日)
大正14.10. 1	アンデルセン50周年お伽噺会開催
昭和 1. 2.12	県図書館大会を女子師範学校で開催
昭和 1. 2.20	県図書館デー(～21日) 子ども会、店員慰安会(夜間)開催 講演会「それは男か女か」(小島政二郎) □「文芸談」(菊池寛)開催 約400名参会(21日)
昭和 1. 2	鉄筋3階建書庫完成(建坪30坪) 新着図書目録刊行 県図書館協会大会開催
昭和 1. 3.29	大閲覧室にリノリュームを敷く
昭和 1. 4.13	本館職員大宮公園にて観桜会開催
昭和 1. 9	県下で林間図書館開催
昭和 1.12.31	県学務課社会教育主事川口彝雄、館長事務取扱を命ぜらる(～6年3月31日)
昭和 2. 2. 7	御大喪につき休館(～8日)
昭和 2. 2.19	県図書館デー(～20日)本館大閲覧室にて子ども会開催 講演「武蔵野に咲ける名花一輪」(長沼依山)、「私の生れた時代」(久留島)開催 20日には講演会「江戸雑話」(岡本綺堂)300名参会
昭和 2. 7	県下で林間図書館開催(～8月)
昭和 2.10. 2	子ども会開催し、盛況に終る
昭和 3. 1.13	県主催成人教育講座始まる
昭和 3. 2.25	県図書館デー(～26日) 子ども会開催 約900名参会 26日には講演会「和歌と回顧趣味(川口彝雄)」、「庶民大衆の抬頭」(生方敏明)開催

昭和 3. 2	児童図書目録及び委任貸付図書目録刊行
昭和 3. 3	本館に埼玉県史編纂室が置かれる
昭和 3. 5.20	図書館講演会「推古天皇二千三百年式年祭に因みて聖徳太子の偉業を憶う」(文博辻善之助)を開催
昭和 3. 6.23	子ども会児童室にて開催 700名参加
昭和 3. 7.25	県下17か所で林間図書館開催 約2,600名閲覧(～8月31日)
昭和 3.10.14	埼玉児童芸術協会主催の子ども会本館児童室で開催
昭和 3	本館が開館以来採用して来た図書の自由出納方式を諸般の事情により中止する 昭和2年度「閲覧成績表」刊行(以後4年度～13年度まで年刊)
昭和 4. 2.23	県図書館デー(～24日) 大閲覧室で子ども会を開催 900名参加 24日には講演会「詩歌は何を私に教えしか」(野口米次郎)開催 200名参加
昭和 4. 5.10	県史編纂室主催県史料展開催
昭和 4. 9.18	県庁前の本館名表示板撤去
昭和 4.10. 5	お伽噺会開催
昭和 4.11. 9	演劇展覧会、講演会「江戸時代の芝居」(日比谷図書館 波多野)開催
昭和 5. 7.26	埼玉県図書館職員協議会並びに講演会を埼玉会館で催し、本館では図書館関係図書の展覧会を開催 150名参観
昭和 5. 7.30	県下10か所で林間図書館開催(～9月8日)
昭和 5.11. 1	教育勅語御下賜40周年記念子ども会開催
昭和 6. 2.28	県図書館デー(～29日) 子ども会開催700名参加 29日には講演会「本邦に於ける新聞雑誌の発達」(法博尾佐竹猛)開催
昭和 6. 3.31	県学務課社会教育主事中原英寿 館長事務取扱に任命される(～14年3月25日)
昭和 6. 4	昭和6年度「閲覧成績表」刊行 6年度の利用者136,815人
昭和 6. 6.18	新刊案内場を埼玉会館前に設置
昭和 6. 7.26	例年通り児童閲覧時間を8月末日まで午前中とする
昭和 6. 8. 5	県下8か所で林間図書館開催 閲覧者1,753名(～9月24日)
昭和 6. 8	「県内公私立図書館調」刊行
昭和 6. 9.26	子ども会開催
昭和 6.10.16	川口善光寺内の労働者講座へ図書を委任貸付す
昭和 6.11.4	図書週間にて、午前中で一般閲覧を中止し、午後書庫を解放し、自由縦覧す。 午後4時より講演会「図書館の文化的使命」(帝国図書館長松本喜一)開催、聴衆男60名、女90名
昭和 6.12. 5	本館内の県史編纂室が主催する「浦和談話会」が館長室において開催される
昭和 7. 2.27	図書館子ども会開催 400名参加
昭和 7. 5.14	本館主催新満州建国宣伝ポスター展覧会開催(～15日)約800名の参観者
昭和 7. 7	県下で林間図書館開催
昭和 7. 8.20	図書館講習会(～21日)口講演会「埼玉に於ける近代の人物」(渡辺金造)、 「国定教科書に見えたる近代人物とその著述」(森鉄三)開催 その他製本術実地指導(間宮不二雄)を実施する
昭和 7.10.14	川越市立図書館で県下図書館長会議開催
昭和 7.11.1	図書館週間始まる
昭和 7.11.12	子ども会開催 600人参加
昭和 7.11.14	台風にて東門倒壊、壁落、雨もり等被害多し 埼玉図書館叢書第1編「埼玉名家著述目録」刊行
昭和 8. 3. 4	県並びに本館主催「男女青年団創作作品展」及び「ブラジル事情展」開催(～3月6日)
昭和 8. 5.12	正門玄関の大額埼玉師範へ渡す(鳳翔閣の額)
昭和 8. 7.19	関東防空演習予習のため午後8時より約20分間灯火管制
昭和 8. 8	林間図書館開催(～9月)
昭和 8.10. 3	本館中央図書館指定 文部大臣認可
昭和 8.10.27	本館主催の図書館講座開催(～28日)出席者83名
昭和 8.10.31	本館が埼玉県中央図書館に指定される
昭和 8.11.4	子ども会開催
昭和 9. 5.30	県会議長横川禎三氏来館

昭和 9. 6. 1	本日より靴、草履の者はそのまま昇降させる
昭和 9. 6	昭和8年度「閲覧概況」並びに「埼玉名家著述目録」(埼玉図書館叢書)配布
昭和 9. 7	県下で林間図書館開催(～8月)
昭和 9. 8. 7	浦和税務所出張所3か月間の予定で本館会議室に移転
昭和 9.11. 4	図書週間の行事として子ども会開催 子ども500名、大人80名参会
昭和10. 2.24	子ども会児童室にて開催
昭和10. 2.25	「公共図書館国庫補助法」制定の請願書(本県分878名)提出する
昭和10. 7	県下で林間図書館開催(～8月)
昭和10.11. 2	図書館週間行事として講演会開催 演題「郷土史に関する典籍について」(稲村坦元)、「郷土史雑観」(石坂養平) 50名参会
昭和11. 1.15	日本図書館協会より依頼の「公立図書館国庫補助法制定」に関する 請願書署名調印依頼書を県下公共図書館に発送
昭和11. 2.23	子ども会開催、雪のため参加者わずか60名
昭和11. 5.18	横浜市立図書館荒波卯吉氏巡回文庫状況を視察のため来館
昭和11. 6	昭和10年度「閲覧概況」刊行(500部)
昭和11. 7	県下13か所で林間図書館開催(～8月)
昭和11. 8.22	郷土講習会開催(～24日) 聴講者150名
昭和11.11. 1	図書館週間(～7日)始まる
昭和12. 5.	「埼玉県図書館令施行細則」制定
昭和12. 7.19	児童室で「防空展覧会」開催 来観者1,000余人に達す
昭和12. 7	県下17か所で林間図書館開催(～8月) 特に長瀨キャンプ村林間図書館好評(8月1日～5日)
昭和12. 8.23	図書館講習会開催(～24日) 講演会「図書館と社会教育」(中原英寿)、「著述を中心とする 近世埼玉の文化」(稲村坦元) 簡易製本術実習(山田正伍)41名参会 24日には講演会「本活字本時代と長徳寺寒松」(田口慎二)開催口簡易製本術実習(山田 正伍)35名参会両日にわたり本県関係の著述軸物を陳列
昭和12. 9	この頃防空演習がひんぱんに実施される
昭和12.11. 9	大閲覧室にて国民精神総動員時局映画会開催 300名参会
昭和12.11.15	全国中央図書館長会議(東京)に館長の代理として田口司書参加
昭和13. 1.13	「埼玉図書館叢書第3編」を県内外図書館に送付
昭和13. 2. 1	「公共図書館国庫補助法制定」の請願書県内分(296名)日本図書館協会に提出
昭和13. 2.11	帝国憲法発布50周年記念日につき憲法に関する図書を閲覧室に陳列
昭和13. 3.12	国民精神総動員県下男女青年団創作・研究資料展開催
昭和13. 6.10	第32回全国図書館大会において本館田口司書 勤続功労者(20年8か月)として表彰される
昭和13. 7	県下で林間図書館を開催(～8月)
昭和13. 8.20	図書館講習会を川越市で開催(～21日)
昭和13. 9. 1	台風来襲により図書類多少水害にあう 夜間閲覧は停電のため休館
昭和13. 9.12	防空演習のため、夜間閲覧は館長室で行なう 以後夜間閲覧の時間短縮 この頃職員の夜間召集しばしば実施される
昭和13.10.25	日中戦争の戦果が紙上に報道され、曝書中ではあるが、新聞閲覧室のみ特別開館す
昭和13.11. 7	図書館週間(～14日)始まる
昭和13.11.12	国民精神作興図書週間の行事として、本館並びに学務課主催の時局映画会を大閲覧室で 開催
昭和14. 3.25	館長事務取扱中原英寿に代わり学務課長伊関庄三郎が就任(～同年5月27日)
昭和14. 5.27	館長事務取扱伊関庄三郎に代わり県学務課長中川薫治が就任(～15年4月12日)
昭和14. 7.25	県下22か所で林間図書館開催し、閲覧者7,268人(～9月7日)
昭和14.11.18	本館並びに浦和談話会主催郷土講演会開催「秩父の風土及び歴史」(井上幸治)、「釈法忍 の話」(渡辺金造) 文部省推選図書展示会開催(～22日)
昭和15. 1.15	中央図書館司書会結成により田口司書関東地方幹事となる
昭和15. 2. 9	文部省・埼玉県並びに本館主催の「聖徳景仰展覧会」を児童室にて開催
昭和15. 2.10	講演会「明治天皇の御聖徳」(前帝室編纂所編纂官渡辺幾治郎)を開催
昭和15. 4. 1	館舎修繕のため臨時休館

昭和15. 4.12	館長事務取扱中川薫治は本日付で厚生省へ栄転、後任として県学務課長木戸喜佐登氏就任(～17年9月)
昭和15. 8. 1	県下13か所で林間図書館開催(～9月8日)
昭和16. 2.21	本館主催、文部省後援図書館講習会開催(～22日)54名参会 大政翼賛会埼玉支部の事務所として本館の一部を貸与
昭和16. 2.23	大政翼賛会の五市連絡会議を館長室で開催
昭和16. 3.22	子ども会開催、小島熙、長沼依山、安部季雄の各氏の講話と浦和幼稚園児の唱歌遊戯等あり
昭和16. 5. 7	特高課警部補図書調査の件につき来館
昭和16. 8. 1	県下11か所で林間図書館開催(～9月15日) 本館叢書「埼玉名家著述目録」再版刊行
昭和17. 5.18	中央図書館長協議会、中央図書館長協会総会(東京)に豊泉司書参加
昭和17. 5.31	本館田口慎二司書文部省辞令により退職
昭和17. 7.30	県下10か所で林間図書館開催(～9月3日)
昭和17. 9	本館々長に古津千次郎が就任(～20年5月4日)
昭和17.12.19	本館他4団体共催「平田篤胤先生遺徳講演会」を師範学校講堂で開催
昭和18. 1.13	読書会設置協議会を館長室で開催 出席者は福森青年教育官、古津館長 羽生勤皇・粕壁・川越・忍・八和田各図書館長等
昭和18. 3. 1	指定読書会指導者打合せ開催
昭和18. 4.16	紙芝居部設置
昭和18. 5. 5	雑誌閲覧調 富士、婦人倶楽部、主婦之友、改造等閲覧多し
昭和18. 5. 7	講読雑誌類審査会、科学思潮、歴史、史学雑誌、図書館研究等を廃し、新たに家の光、若草、短歌研究等を購入決定
昭和18. 5.24	図書館新築に対する協議会開催
昭和18. 6.24	新刊図書購入制度変更告示
昭和18. 6.26	「米英撃滅敵愾心昂揚決戦併田口・古津両先生送迎子ども会」開催
昭和18. 7	県下で林間図書館開催(～8月)
昭和18. 8.29	大政翼賛会に官報置場を当分貸与
昭和18. 9.24	文部省主催指定読書会研究会に館長出席
昭和18.10. 1	指定読書会指導者協議会開催
昭和18.10.23	産業組合中央会埼玉支部と共催で北埼玉郡水深村産業組合道場で「読書会指導者養成講習会」開催
昭和19. 5. 3	閲覧人近頃になく多く50人を越す
昭和19. 5.11	閲覧人非常に多く、館員不足に悩む
昭和19. 5.29	県並びに本館主催の「読書会指導者養成講習会」を比企郡菅谷村農士学校で開催
昭和19. 6.10	「出版物適正配布懇談会」を館長室で開催
昭和19. 6.29	浦和警察署巡査部長特高視察係岩波書店雑誌「教育」の読者調査依頼につき来館
昭和19. 8. 2	川口産報と共催で「読書会指導者養成講習会」を川口市厚生道場で開催(24日)出席者は市内の工場(工員100人以上)の読書会指導者適格者27名
昭和19. 8.31	「日本地理大系」15冊を軍秘密関係図書に付閲覧禁止とし、館長室へ別置
昭和19.11. 2	出版物適正配分懇談会開催 この頃空襲警報がひんぱんに出て、閲覧活動は不十分なるも委任貸付文庫の活動は活発に行なわれる
昭和20. 2. 1	青年学校読書指導会議開催
昭和20. 3.24	書庫と閲覧室のみとなった本館は、内政部長の通牒「時局即応ニ依ル図書館整理ノ件」により館内閲覧停止のやむなきに至る
昭和20. 5. 4	本館々長古津千次郎辞職
昭和20. 5	巡回文庫用図書購入し、館外での活動を続行
昭和20.10.29	旧陸軍予科士官学校よりトラックで図書を搬入(～30日)
昭和20.11.14	常盤国民学校より旧陸軍予科士官学校図書174冊受領
昭和21. 3.31	菰塚一三郎本日付で本館々長事務取扱に就任(～32年7月1日)
昭和21. 4. 2	軍政部事務室を本館内に設置方要求し交渉に来る(後日断る)
昭和21. 4. 5	児童室を朝鮮人連盟事務室として貸与するため整理

昭和21. 4. 6	館長以下館員一同本館再建につき協議
昭和21. 4	旧翼賛会事務所を始め、館内整備を急ぎ、旧士官学校図書、疎開から帰館せる図書、旧巡回文庫図書、洋書等の整理を急ぐ
昭和21. 5. 1	本日より開館 利用者多し
昭和21. 5. 6	当分の間図書整理のため月曜日を休館とす
昭和21. 5.27	本館蔵書冊数調査
昭和21. 5	寄居青年学校に巡回文庫図書を貸出し、貸出文庫の活動再開
昭和21. 6.12	閲覧時間を午前8時より午後4時までと改正
昭和21. 6.15	新たに受付を設置
昭和21. 7. 2	読書指導会議開催
昭和21. 7.12	県図書館協会再発足打合せ会
昭和21. 8	このころ英文図書室開設
昭和21. 9.10	英文図書室を中心に浦和イングリッシュクラブ設立
昭和21.10. 1	読書指導会議開催
昭和21.10.14	英文図書室は雨漏り、電灯故障のため28日まで休館 その後も利用者寡少のため諸会合の会場に利用
昭和21.10.23	読書会指導者講習会(～24日)開催
昭和21.11.14	読書指導研究会開催
昭和21.12.16	県図書館協会評議員会開催
昭和22. 1.20	新年子ども大会を埼玉会館で開催
昭和22. 2.15	英文図書室改造完成につき、知事、軍政部ライオン司令官等21名来館
昭和22. 2.25	児童室開設座談会開催
昭和22. 3. 4	朝鮮人連盟事務所移転
昭和22. 3.20	蕪塚一三郎地方事務官に任ぜられ、県立図書館長に補せられる
昭和22. 4.16	アメリカ教育使節団寄贈の家庭及び子ども向け図書の展示会開催(～20日)
昭和22. 4.30	軍政部の要求により以後水・土曜日は午後8時まで開館
昭和22. 5.27	英文図書室は本日より火・木・土の週3日間午後8時まで開館
昭和22. 6. 4	県下独立図書館長会議
昭和22. 6	館長が県社会教育委員会で本館改修につき説明す
昭和22. 7.21	県図書館協会評議員会開催
昭和22. 8. 4	読書会研究協議会開催
昭和22. 8	英会話講習会開催(～6月)
昭和22.11. 4	県下で読書講演会開催(～6日間)
昭和22.12.10	読書討論会開催 100名参加
昭和23. 2.19	図書館学の権【機[ママ]】威であるバーネット氏(総司令部)来館
昭和23. 4. 1	本館の分館を川越・熊谷に設置
昭和23. 5.25	講演会開催(講師 西田天香)
昭和23. 6.18	分館長会議開催
昭和23. 8.12	英文巡回文庫を川口図書館へ送付
昭和23.11. 8	読書会利用者懇談会開催
昭和23.12	フィルムライブラリー設置
昭和24. 3.17	公共図書館長会議開催、以後県立図書館改築問題に付協議
昭和24. 5.19	県立図書館改築に関する書類を社会教育課へ提出
昭和24. 5.20	本館館報(～9月 ～26年まで)発行
昭和24. 5.23	図書館講習会開催、講演「図書の整理と活用」(武田虎之助)
昭和24. 5.30	全国図書館員組合埼玉支部結成
昭和24. 7.22	県図書館協会事務局を本館に置く
昭和24.10.15	閲覧者懇談会開催
昭和24.10.16	巡回文庫利用者座談会開催
昭和24.11. 1	読書文化座談会開催
昭和24.11. 3	読書文化総合展開催(～9日)
昭和24.11. 8	県図書館協会創立総会開催 講演会(金森徳次郎)
昭和25. 2. 7	図書館デー開催

昭和25. 3.12	移動図書館研究座談会開催
昭和25. 3.29	移動図書館運営費として265万円を議会で可決
昭和25. 4. 1	本館の分館を秩父・行田に新設 本館改修工事とN.D.C分類切換のため1か月間の休館
昭和25. 4.20	分館設置に関する懇談会開催
昭和25. 5.30	移動図書館事務室を児童室跡へ設置
昭和25. 7.12	県学校図書館協議会創立総会開催
昭和25. 7.26	移動図書館の発足につき館長会議開催
昭和25. 7.30	移動図書館「むさしの」の命名式発会式 文部省、日本図書館協会、近県図書館長等来賓 30名 フィルムライブラリーの職員2名当館兼務となる
昭和25. 9.13	移動図書館3コース56市町村の巡回開始
昭和25. 9.29	移動図書館は街頭録音実施援助のため秩父郡小鹿野町に出張
昭和25. 9	移動図書館運営委員会各市町村に設置
昭和25.10.12	埼玉県図書館協会々長に新関良三氏就任
昭和25.11. 1	読書週間記念総合文化展開催(～3日) 2,770名入場
昭和25.11.16	県下公共図書館ワークショップ開催(与野)
昭和25.11.27	図書館運営講習会開催(熊谷)
昭和26. 1. 8	移動図書館運営委員会代表が移動図書館増設運動を開始
昭和26. 2.12	県社会教育課で図書館条例につき審査会開催
昭和26. 2.14	学校図書館振興協議会岩槻で開催(16日 秩父)
昭和26. 2.28	移動図書館増設対策委員会開催
昭和26. 2	本館に視聴覚室設置
昭和26. 3.31	埼玉県立図書館設置条例(条例第19号)制定、館名を埼玉県立図書館と改称
昭和26. 3	埼玉県図書館長協議会発足並びに第1回研究集会
昭和26. 4.20	「県立図書館規則」並びに「規程」審議会開催
昭和26. 4.21	本館対日本図書館協会親睦野球大会開催
昭和26. 6. 5	本日より安全接架式閲覧方法を採用
昭和26. 6.11	図書館職員指導者講習会(1か月於東大)に館長参加
昭和26. 6.12	「図書館設置廃止規則」(教委規則第6号)制定
昭和26. 7. 1	本館の分館を本庄、幸手、飯能、松山に新設
昭和26. 7. 7	ホールでレコード・コンサートを開始
昭和26. 8.13	緑蔭図書館を開催し、移動図書館が出張
昭和26.10.20	図書館懇談会のため慶応大学図書館学科教授ハント女史来館
昭和26.11. 1	図書館週間(～7日)、行事として座談会(1・2日)、レコードコンサート(3・5日)、子ども会(4日)等開催
昭和26.11.10	講和記念読書週間埼玉図書館大会開催
昭和26.11.13	移動図書館「むさしの2号」車発足
昭和27. 2.12	視聴覚室の設営完了
昭和27. 3. 8	移動図書館運営協議会発足 総会(会長高橋庄次郎氏選出) 11日には第1回常任委員会開催
昭和27. 3	県図書館長協議会が県図書館連絡協議会と名称変更
昭和27. 4.15	埼玉県立図書館協議会条例制定(条例第36号)。
昭和27. 5. 8	子ども会開催(以後定期的に開催され、この年11回に及ぶ) 「埼玉県図書館規則」制定(教委規則第6号)、新たに郷土室・点字室の設置を定める(大正13年の館則、閲覧規程廃止)
昭和27. 5.17	「埼玉県立図書館処務規則」制定(教委訓令第68号) 2課係制職員32名となる(大正13年の処務規程、同細則廃止)
昭和27. 6.25	県図書館大会開催(熊谷)
昭和27. 8. 1	緑蔭図書館開館(3日・7～9日)
昭和27. 9. 3	郷土室新設作業を全館員で実施
昭和27.11.10	県図書館週間(～23日) 移動図書館が県内養護施設を巡回 レコードコンサート(13日)、座談会開催
昭和27.12.25	県立図書館分館長会議開催(予算の件)

昭和28. 1. 1	本館分館を深谷・越ヶ谷に新設
昭和28. 1.27	「埼玉県立図書館協議会運営規則」制定(教委規則第1号)
昭和28. 1.30	移動図書館運営協議会郡支部規約制定
昭和28. 3. 1	本館図書館協議会委員10名任命 閲覧室一部改修工事開始
昭和28. 4. 1	本館分館として入間川分館を新設 県立図書館協議会条例改正(条例第25条)
昭和28. 4	蕪塚館長日本図書館協会公共図書館部会長に就任(任期2年)
昭和28. 5.29	県図書館大会開催(大宮)
昭和28. 7.27	英書輪読会開始
昭和28. 8	緑蔭図書館を浦和、川口で開催
昭和28. 9.22	「武蔵国郡村誌」刊行委員会初会合
昭和28.10. 5	学校図書館法成立記念講演会を県下各地で開催(～9日)
昭和28.10.27	読書週間(～11月5日) 移動図書館読書大会(31日)、レコードコンサート(11月5日)、映画会(6日)、子ども会(7日)等開催
昭和28.12. 4	慶大日本図書館学校長ギットラ氏来館
昭和28.12	「武蔵国郡村誌第1巻」刊行(以後30年まで全巻刊行) この頃館舎の老朽はげしく雨漏り等に悩む
昭和29. 3	本館「要覧」刊行(以後35～47年まで年刊)
昭和29. 4.30	移動図書館常任委員会で町村合併後の移動図書館運営を検討
昭和29. 6.18	県図書館大会開催(春日部)
昭和29. 6.29	本館分館を加須に新設
昭和29. 6	県図書館連絡協議会の名称を埼玉県公共図書館連絡協議会とす
昭和29. 7	「点字図書目録」刊行
昭和29. 9. 8	関東地区公共図書館連絡協議会研究集会開催(～10日 長瀬)
昭和29.10.27	移動図書館ステーションマスター(駐車場主任)研究会を長瀬で開催(～28日)
昭和29.10.30	学校図書館振興講演会を所沢で開催(11月4日□久喜、6日熊谷)
昭和29.11. 1	読書週間(～7日) 記念行事として写楽版画会、映画会(2日)、子ども会(3日)、図書館用品展示即売会(5～15日)等開催
昭和29.11.18	読書座談会を浦和市仲本小学校で開催
昭和29.11	参考室に専任司書を置き、「参考ニュース」を発刊
昭和29.12. 7	慶応大学図書館学校生徒が移動図書館の運営状況を見学
昭和30. 3. 5	移動図書館読者大会開催
昭和30. 3.11	図書館技術講習会開催
昭和30. 3.23	青年巡回文庫研究会開催
昭和30. 6.20	点字図書利用者点訳奉仕者座談会開催
昭和30. 7. 9	座談会「児童図書の不良出版物について」開催
昭和30. 7.11	移動図書館大会開催
昭和30. 7.12	県図書館大会開催(川越)
昭和30. 7.27	公共図書館整備研究協議会開催(～28日)
昭和30. 8. 1	青年巡回文庫設置 緑蔭図書館を川口で開催(～3日)、(4日 浦和)
昭和30. 8.25	青少年巡回文庫説明会開催
昭和30. 9.13	青少年巡回文庫図書選定委員会開催
昭和30.10.13	青少年巡回文庫の貸出開始
昭和30.10.27	読書週間(～11月7日)始まる
昭和30.11. 1	不良出版物から子どもを守る協議会開催
昭和30.11. 3	「作品展及びアメリカの教科書展」開催(～6日)
昭和30.11. 6	読書談話会開催
昭和30.11.24	移動図書館駐車場主任研究集会を上長瀬で開催(～25日)
昭和30.12.17	点字奉仕者座談会開催
昭和31. 2.20	分館長会議を越ヶ谷分館で開催
昭和31. 2.27	製本技術講習会を飯能で開催(28日大宮小、29日秩父図、3月2日春日部小)
昭和31. 3.22	本館改築準備費20万円を県議会で議決
昭和31. 3.23	青少年巡回文庫研究会開催

昭和31. 6.27	県図書館大会開催(羽生)
昭和31. 6.30	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の施行により館員は県教育委員会事務局職員となる
昭和31. 8. 5	緑蔭図書館を川口で開催(～8日)
昭和31. 8.23	県立図書館改築促進委員会発足、委員として県議員5名、県当局4名、図書館関係団体代表6名、県教育委員5名、県教育長、埼玉大学長就任
昭和31. 8.25	県立図書館についてNHK録音
昭和31. 9.10	第1回本館改築準備打合せ開催 出席者 教育長、総務課長、社教課長、建築課長、館長、奉仕課長、管理課長
昭和31. 9.14	本館改築につき県立図書館協議会開催
昭和31. 9.21	第2回本館改築準備打合せ開催(教育局会議室)
昭和31.10. 3	第3回本館改築準備打合せ開催
昭和31.11. 5	読書週間 記念事業として学校図書館研究座談会(熊谷) 講演会並びに読書座談会(蕨) 講演会(秩父)
昭和31.11.28	第4回本館改築準備打合せ開催
昭和31.12.25	第2回改築促進委員会開催
昭和31.12.27	点訳奉仕会理事会開催
昭和32. 1.19	改築促進委員会県外視察(～20日 栃木県立図書館)
昭和32. 1.20	埼玉駅伝に移動図書館1・2号車が協力
昭和32. 2.13	第3回改築促進委員会開催
昭和32. 2.26	移動図書館駐車場新設町村運営打合せ開催
昭和32. 3. 9	第4回改築促進委員会開催
昭和32. 3.25	本館改築調査費180万円計上される
昭和32. 4. 4	子ども会開催(この年計10回を数える)
昭和32. 5.23	移動図書館「むさしの3号」車発足、記念大会並びに総会開催(熊谷)
昭和32. 6.29	県図書館大会開催(熊谷)
昭和32. 6	深谷市立図書館が優良図書館として県教委より表彰される
昭和32. 7. 1	県教育次長峰岸政之助 館長事務取扱に任命(～11月1日)
昭和32. 7. 7	母親講座開講(～7月28日まで4回)
昭和32. 8. 8	緑蔭子ども図書館のため「むさしの2号車」出張(～10日)
昭和32. 8.22	県図書館大会決議事項を陳情
昭和32. 8.27	小学生、移動図書館に同乗し活動状況見学
昭和32.10.26	読書週間始まる 記念事業として講演会(26日 川越市図)、参考事務ニュース寄稿者と県内編集者との座談会・母親と子どもの座談会、(27日)、学校図書館研究集会(深谷)、美術スライドと映画(5～6日)、詩人祭(10日)、学校図書館研究集会(11日 小川)
昭和32.11. 1	峰岸教育次長が館長事務取扱の兼任を解かれ、元教育委員長上野茂館長に任命される(～44年4月1日)
昭和32.11.12	図書館技術運営研究会開催(飯能)
昭和33. 1.29	改築打合せ開催(大宮)
昭和33. 3. 6	移動図書館の歌募集
昭和33. 3.14	第5回改築促進委員会開催
昭和33. 3.24	改築事業費約9,006万円を2か年事業として県会で議決
昭和33. 6.26	優秀映画観賞会開催、以後定期的に開催
昭和33. 6.30	県図書館大会開催(川口)
昭和33. 7.29	緑蔭図書館開催(～8月2日)
昭和33. 8. 7	国会図書館において改築打合せ開催(草野課長他6名出席)
昭和33. 8.11	図書館建築スライド映写会(社教分室)
昭和33. 8.23	改築のため県外図書館の視察(神奈川県立図)
昭和33. 9. 9	国会図書館において改築打合せ開催
昭和33.10.26	読書週間記念行事 母と子の読書会(26日)、児童福祉施設慰問特別巡回(27～31日)、レコードコンサートと映画の夕(5日)
昭和33.11.18	図書館改築打合せ 出席者 土木部長、建築課長、教育長、次長、総務課長、施設係長、館長、奉仕課長等
昭和33.11	改築のため県外図書館視察(神奈川、栃木、福島の各県立図及び大阪府図)

昭和33.12.11	講演会(ランガナターン)開催
昭和33.12.13	読書週間記念講演会「新しい母親」(西清子)と映画(高砂小)
昭和34. 2.12	第2回資料選定委員会開催
昭和34. 2.25	改築に伴う移転作業を開始 文化会館、浦和高校、浦和警察署跡へ備品、書籍等を搬出(～3月17日)
昭和34. 3. 3	館舎移転のため休館となる
昭和34. 3.16	本館々舎を浦和市へ払下げ決定
昭和34. 3.19	本館改築報告会(埼玉会館)
昭和34. 3.24	浦和警察署跡を仮館舎とし、業務を再開
昭和34. 4. 1	本館主体工事入札(3,303万円)
昭和34. 4. 9	駐車場実態調査
昭和34. 5.21	地鎮祭をなし、改築工事着工
昭和34. 6. 8	県下公共図書館総会並びに研究集会を長瀬で開催(～9日)
昭和34. 6.19	「県立図書館協議会条例」改正(条例第29号)
昭和34. 6.20	県図書館大会開催(川越)
昭和34. 8.22	第2回埼玉県学校図書館大会開催(熊谷)
昭和34.10	公共図書館・学校図書館振興に関する請願及び移動図書館充実に関する請願が県議会で採択される
昭和34.12.14	県公共図書館長会議並びに公共図書館関係教育功労者表彰者祝賀会開催(むさしの荘)
昭和34.12.21	中世文書調査打合せ会
昭和35. 1.19	中世文書所在調査実施(19～23、27日)
昭和35. 2. 4	図書館規則改正案について検討
昭和35. 2. 9	新館の備品購入が進められる
昭和35. 2.19	図書費50万円復活要求が認められる
昭和35. 2.22	灯読書会始まる
昭和35. 3. 5	郷土資料室運営について意見交換会開催
昭和35. 3.28	図書、書架等を新館へ搬入開始
昭和35. 3.31	新館落成、「埼玉県立図書館管理規則」改正(教委規則第5号)副館長がおかれ3課、8係制、職員数44名となる「埼玉県立図書館の歩み」発行
昭和35. 5. 7	落成式挙行、記念行事を埼玉会館で挙行
昭和35. 5.20	新館にて閲覧業務を開始する
昭和35. 6.13	県図書館大会開催(浦和)
昭和35. 6.14	本館新築に関する「埼玉ニュース」の試写会開催
昭和35. 6.23	県立図書館改築に関する県図書館大会感謝決議文を知事・県議会議長、県教育長に提出
昭和35. 6.24	読書感想画展示会開催(～28日)
昭和35. 7. 3	閲覧室座席指定制実施
昭和35. 7.12	社会教育課視聴覚ライブラリー資料を本館へ移管する作業を実施
昭和35. 7.15	県教委、浦和市当局及び図書館側による図書館運営に関する打合せ開催
昭和35. 7.20	図書館利用者座談会開催
昭和35. 9. 3	移動図書館運営委員会再編成説明会開催
昭和35.11. 7	埼玉資料室運営委員会開催
昭和35.11.26	読書週間、読書感想画展開催(～30日)
昭和35.11.29	県下公共・学校図書館振興のための請願(陳情)、12月14日議会で採択される
昭和36. 1.31	「図書館法施行並びに移動図書館発足10周年記念式典」挙行 図書館資料展開催(～2月2日)
昭和36. 2	県郷土資料総合目録編さん委員会発足
昭和36. 3.31	「移動図書館利用の手引」刊行
昭和36. 6.17	県図書館大会開催(加須)
昭和36. 6.27	県内資料展開催(～29日)
昭和36. 7.17	第1回母親教養講座 講演「生活への愛情」(吉沢久子)
昭和36. 7.28	県立図書館分館会議開催(分館数12館)
昭和36. 7.31	移動図書館「むさしの3号」車更新(旧3号車を4号車とする)
昭和36.10.28	第1回埼玉県母と子の読書大会開催(熊谷)

昭和36.11.6	第2回母親教養講座 講演「読書とユーモア」(宮崎博史)
昭和36.12.2	分館増設並びに郷土資料総合目録の刊行について陳情、県議会で12月18日採択される
昭和36.12.4	移動図書館用図書費並びに移動図書館4号車運行に必要な人員及び経費の計上について陳情、県議会で12月18日採択
昭和36	この年「埼玉県立図書館建築の概要」、「埼玉県公共図書館の現状」を刊行
昭和37.2.22	埼玉県読書グループ研究発表大会開催(吹上)
昭和37.6.15	県図書館大会開催(大宮)
昭和37.7.2	第3回母親教養講座 講演「埼玉の歴史をたずねて」(横内浦男)
昭和37.7.7	読書グループ指導者講習会開催(久喜) 「さくら草文庫」創刊(～10号～47年)
昭和37.7.8	入間郡平山村 平山家文書調査実施
昭和37.8.17	「県立図書館管理規則」改正(教委規則第16条)
昭和37.9.24	第4回母親教養講座 講演「娘と嫁と姑」(福島慶子)
昭和37.10.8	読書指導研究会開催
昭和37.10.23	第2回県母と子の読書大会開催(春日部)、分館増設5か年計画第1年次、鴻巣・小川・児玉分館新設(10月24日)
昭和37.11.14	第5回母親教養講座 講演「おかあさんのための日本歴史」(大護八郎)
昭和37.12.18	「県立図書館管理規則」改正(教委規則第18号)
昭和37.12	埼玉県郷土資料総合目録・本館増加図書目録刊行(～45年)
昭和38.1.21	東西アジア来日使節団3名(パキスタン、インドネシア、カンボジア)来館し、栗橋町移動図書館利用状況視察
昭和38.2.12	分館用図書の点検を開始(～22日、全15館)
昭和38.4.1	貸出文庫設置(予算187万円)
昭和38.4.3	「埼玉資料年報」創刊(～45年度)
昭和38.5.27	県公共図書館連絡協議会総会・研究集会開催(於武蔵野荘)
昭和38.5.30	移動図書館大会開催(熊谷)
昭和38.6.6	県下図書館長及び分館長会議開催(川口)
昭和38.6.10	第6回母親教養講座 講演「いまの家庭 これからの親子」(重松敬一)
昭和38.6.14	県図書館大会開催(東松山)
昭和38.7.22	入間郡上名栗村町田家文書調査実施
昭和38.9.9	第6回母親教養講座 講演「青少年問題と家庭のあり方」(秋山ちえ子)
昭和38.10.1	日本図書館協会公共図書館部会移動図書館分科会発足 会長に本館上野館長就任
昭和38.10.7	本館鈴木四郎係長、英国文化振興会の給費生として6か月間英国に派遣される
昭和38.10.8	貸出文庫配本車(「むさしの」5号車)新設
昭和38.11.14	第1回近世史料講習会開催(14・21・28日 浦和)
昭和38.11.29	読書指導研修会開催
昭和38.12.1	県下公共・学校図書館振興のための請願(陳情) □県議会で12月14日採択される
昭和38.12.2	県下における古文書古記録の調査及刊行について請願(陳情) 県議会で12月14日採択される
昭和39.2.7	埼玉資料室資料選定協力委員会開催
昭和39.2.14	分館図書点検(～21日、秩父他)
昭和39.3.18	県公共図書館連絡協議会及び郷土資料研究会開催(鴻巣)
昭和39.3.28	埼玉県母親教養講座 講演「青少年の心理と指導」(品川孝子 東松山)
昭和39.3.28	分館増設5か年計画第2次、朝霞・寄居・所沢分館新設
昭和39.5.25	母親読書室団体利用者読書会開催
昭和39.6.8	県公共図書館連絡協議会総会・研究集会開催(～9日 所沢)
昭和39.6.15	第8回母親教養講座 講演「子どもの読書について」(松尾弥太郎)、読書通信創刊(～16号～44年)
昭和39.6.22	県図書館研究会
昭和39.6.29	県図書館大会(浦和)
昭和39.6.30	「埼玉県立図書館管理規則」改正(教委規則第16号)
昭和39.7.10	分館増設5か年計画第3年次 横瀬分館新設、蓮田分館(10月26日)、羽生分館(40年2月20日)設置
昭和39.7.28	第2回近世史料講習会開催(～30日 浦和)

昭和39. 8.12	公共図書館長並びに分館長会議開催(分館数21館)
昭和39.10. 2	図書館運営研究会開催(深谷)
昭和39.11. 9	全国移動図書館研究集会開催(浦和)
昭和39.11.28	第1回埼玉県本を読むおかあさん大会開催(浦和)
昭和40. 3.25	「本を読むおかあさん」創刊(～第8集、～46年)
昭和40. 3	「埼玉の中世文書」・「近世史料所在調査報告Ⅰ」(～第7集 46年度)刊行
昭和40. 4. 1	「県教育史編さん規程(内規)」制定、編さん事業開始
昭和40. 6. 3	第9回母親教養講座 講演「私の読書論」(堀秀彦)
昭和40. 6.14	県公共図書館連絡協議会総会・研究集会開催(～15日)
昭和40. 7. 7	県図書館大会開催(熊谷)
昭和40. 7.26	第3回近世史料講習会開催(～27日 浦和)
昭和40. 7.30	日本図書館協会公共図書館部会副部会長に上野館長就任(～43年度)
昭和40. 8. 8	読書指導研修会開催(～9日 秩父三峰)
昭和40. 9	第10回母親教養講座 講演「新しい親の生き方 子の生き方」(梶田利治)
昭和40.10. 1	分館増設5か年計画第4年次 蕨分館新設(この年度に荒川・武蔵分館新設)
昭和40.10.11	県立図書館条例改正(条例第45号)
昭和40.10.27	「県教育史料及び埼玉の中世文書展」開催(～31日)
昭和40.10.29	埼玉教育回顧座談会
昭和40.10	関東地区公共図書館連絡協議会奉仕部門研究集会開催(浦和)
昭和40.11. 1	母親読書室郷土めぐり実施
昭和40.11.17	第2回県本を読むおかあさん大会開催
昭和41. 1.17	学校・公共図書館写真展開催(～21日)
昭和41. 1.28	浦和ロータリークラブ図書資料を本館に寄贈
昭和41. 3	「埼玉県立図書館資料整理基準」刊行 青少年巡回文庫廃止
昭和41. 5. 9	母親読書室利用者団体会議 児童図書展開催(～14日)
昭和41. 5.26	書庫整理促進委員会開催
昭和41. 6. 4	県図書館大会開催 県Y.B.C発会式挙(浦和)
昭和41. 6. 6	県公共図書館連絡協議会総会・研究集会開催(熊谷)
昭和41. 6.27	浦和市内勤労青少年いずみ会読書グループ発足
昭和41. 7.14	図書館実務研究会開催(～8月)
昭和41. 7.16	県Y.B.C実行委員会開催
昭和41. 7.26	第4回近世史料講習会開催(～27日 熊谷)
昭和41. 8.12	読書指導研修会開催(～13日 飯能)
昭和41. 9.27	県公共図書館連絡協議会図書館職員研修会開催(～28日)
昭和41.10.27	読書週間(～31日) 戦後話題の出版物展(～31日)、県教育史展(～6日)、第2回母親読書室利用者郷土めぐり実施
昭和41.12. 1	県図書館協会 文書館・第2県立図書館建設、配本所(分館)の図書費増額を県議会で請願
昭和42. 1.13	書庫工事完了1階書庫に移動図書及び点字図書配架
昭和42. 1.16	第3回本を読むおかあさん大会開催(大宮)
昭和42. 1.17	浦和ロータリークラブ児童図書を本館に寄贈
昭和42. 2	公共図書館部会視聴覚分科会全国集会開催(浦和)
昭和42. 3.13	さくら草文庫のつどい開催
昭和42. 3	文書館建設費2,785万円が県議会で議決 分館増設5か年計画完了(富士見・鶴ヶ島・春日部分館新設 全27館となる) 「県教育史資料集第1集」刊行(以後46年までに6冊)
昭和42. 5.23	文書館建設打合せ開催
昭和42. 5	全国公立図書館長協議会発足、上野館長が副会長に就任(任期2年)
昭和42. 6. 8	県図書館大会開催(熊谷)
昭和42. 7.26	第5回近世史料講習会開催(～27日 越谷)
昭和42. 8.17	読書指導研修会開催(～18日 秩父)
昭和42. 8.30	新駐車場主任研究集会
昭和42. 9	文書館建設費補正予算3,688万円を県議会で議決(総計6,473万円)

昭和42.10.2	県教育局企画委員会に文書館建設専門部会を設置
昭和42.11.4	明治100年出版物展開催
昭和42.11.16	第4回本を読むおかあさん大会開催(川越)
昭和42.12.8	文書館建設打合せ開催
昭和43.1.19	文書館建設打合せ開催
昭和43.2	県議会にて、県立図書館増設議決(昭和43・44年度の2か年継続事業)
昭和43.2.18	知事を囲むおかあさん読書座談会開催(埼玉会館 18名)
昭和43.3	「埼玉県立図書館整理基準」第2部刊行
昭和43.4	複写サービス開始
昭和43.5.10	文書館建設工事入札
昭和43.5.14	母親読書室団体利用者代表座談会開催
昭和43.5.20	県図書館大会開催(浦和)
昭和43.6.1	文書館建設工事着工
昭和43.6.3	本館万葉百歌読書会 大宮文化会館万葉植物園見学会開催
昭和43.7.25	第6回近世史料講習会開催(～26日 秩父)
昭和43.8.19	読書指導研修会開催(～20日 所沢)
昭和43.10.20	明治100年郷土資料展開催
昭和43.11.13	第5回本を読むおかあさん大会開催(浦和)
昭和44.1.27	第1回母親読書室文化講座開催(～45年3月、計6回開催)
昭和44.2.21	埼玉の教育文書展開催(～29日)
昭和44.3.31	県立図書館複数館発足に伴い「県立図書館管理規則」改正(教委規第16号) 文書館建築工事竣工(地上3階地下1階、1,322.5㎡) 書誌目録刊行
昭和44.4.1	県立図書館内に熊谷図書館開設準備室発足(職員7人)・準備委員長上野茂
昭和44.5.10	文書館落成記念「埼玉の文書展」開催(～15日)
昭和44.5.19	文書館落成式 記念講演会「史料からみた郷土埼玉」(森末義彰)、記念座談会(21日)開催
昭和44.6.3	文書館閲覧業務開始
昭和44.6.13	県図書館大会開催(浦和)
昭和44.6.18	県文書調査員委嘱状交付式並びに座談会(調査員12名)
昭和44.7.14	母親読書室おかあさんのつどい、講演「民話について」(松谷みよ子)
昭和44.7.24	第7回近世史料講習会開催(～25日 浦和)
昭和44.8.12	移動図書館予約図書サービス・レファレンス業務開始
昭和44.8.19	読書指導研修会開催(～20日 浦和)
昭和44.9.1	開設準備室を熊谷市立図書館分館に移転
昭和44.9.10	埼玉資料室収書通報刊行(～10号、～46年季刊)
昭和44.11.14	第6回本を読むおかあさん大会開催(熊谷)
昭和45.3.12	熊谷図書館、主体工事完了・開設準備室を新館に移転
昭和45.3.30	埼玉県立図書館設置条例改正(条例第34号)により県立浦和図書館と改称 「同管理規則」改正(教委規第6号) 4課10係制となる 「県立図書館協議会条例」改正(条例第35号)「同運営規則」改正(教委規第7号) 本館所蔵「新聞雑誌目録」刊行
昭和45.4.1	埼玉県立熊谷図書館設置・職員25名
昭和45.5	県郷土資料総合目録編さん委員会発足(増補版)
昭和45.7.7	県図書館大会開催(浦和)
昭和45.7.21	熊谷図書館開館式典挙行
昭和45.7.23	熊谷図書館奉仕業務開始(貸出閲覧室・母親子ども読書室・貸出文庫・視聴覚)
昭和45.7.27	第8回近世史料講習会開催(～28日 熊谷)
昭和45.8.17	読書指導研修会開催(熊谷)
昭和45.9.5	「館外奉仕資料目録第1集」刊行
昭和45.9.30	「飯野喜四郎伝―付県政重要日記抄」刊行
昭和45.10.12	「県行政文書件名目録―産業編」刊行
昭和45.10.17	昭和45年度地方史研究協議会全国大会を主催す(～19日)

昭和45.11.18	図書館法施行並びに移動図書館発足20周年記念式典挙行 第7回本を読むおかあさん大会開催(浦和)
昭和46. 2	熊谷図書館、移動図書館「さきたま」1号車建造
昭和46. 3	浦和図書館本館増改築費として5,378万円を県議会で議決
昭和46. 3	浦和図書館から移動図書館「さきたま」1号、熊谷図書館へ保管転換
昭和46. 3.30	熊谷図書館積層書庫(4・5層)及び車庫完成(移動図書館車2台・配本車1台)
昭和46. 3.31	「県立図書館管理規則」改正(教委規第13号) 「曉霞文庫目録」(加藤芳江寄託)刊行
昭和46. 4. 1	熊谷図書館に職員15人増員
昭和46. 4.19	熊谷図書館で移動図書館巡回開始(「さきたま」1号、2号(旧「むさしの」2号))
昭和46. 4.30	「県立図書館管理規則」改正(教委規第17号)
昭和46. 5.11	熊谷図書館で調査相談室業務開始
昭和46. 7.15	熊谷図書館にサンケイ文庫設置(母親子ども室内)
昭和46. 7.12	県図書館大会開催(川越)
昭和46. 7.28	第9回近世史料講習会開催(～29日 大宮)
昭和46.11.14	「埼玉県郷土資料総合目録」(増補版)刊行
昭和46.12.21	熊谷図書館協議会委員委嘱
昭和46.12. 7	第8回本を読むおかあさん大会開催(熊谷)
昭和46.12.25	「みんなの本棚」(増加図書目録)刊行
昭和46.12.28	「県立図書館管理規則」改正(教委規則第30号)
昭和46.12	「埼玉名家著述目録」復刻刊行
昭和47. 1.13	一日図書館「むさしの」命名式
昭和47. 1.18	一日図書館「むさしの」号開館し巡回開始
昭和47. 1.20	全国公共図書館整理部門研究集会開催(～21日 浦和)
昭和47. 2	県議会で、昭和47年度予算案に第三図書館建設のための調査費計上
昭和47. 3	県教育史第5巻刊行により編さん事業完了
昭和47. 3	一日図書館運営研究会開催
昭和47. 4. 1	熊谷図書館に特許公報類閲覧所設置(調査相談室内)
昭和47. 4. 1	県戦後教育史編さん事業開始「同 編さん規程」制定(6日)
昭和47. 5	関東地区公共図書館協議会長(任期2年)並びに日本図書館協会公共図書館部会地区幹事に江袋館長就任(任期2年) 浦和図書館、本館東側の増築完成
昭和47. 6.13	一日図書館「むさしの2号」開館し、巡回開始
昭和47. 6.27	県図書館大会開催(大宮)
昭和47. 6.30	産経新聞社児童図書700冊を本館に寄贈、同展示会開催(7月21日～25日)
昭和47. 6.	全国公共図書館協議会関東地区代表理事に江袋館長就任(任期2年)
昭和47. 7.28	第10回近世史料講習会開催(～29日、大宮)
昭和47. 8. 2	図書整理技術研修会を浦和で開催(3日 熊谷)
昭和47. 8.22	学制発布100年記念「明治時代教科書展」開催(～25日)
昭和47. 9. 8	熊谷図書館の積層書庫完成
昭和47. 9.25	「埼玉県立浦和図書館50年誌」刊行
昭和47. 9.29	浦和図書館50周年記念文書展「埼玉の交通文書展－近世－」開催(～10月3日)
昭和47.10. 2	浦和図書館創立50周年記念式典挙行
昭和47.11	埼玉県立図書館管理規則の一部改正により、浦和図書館が4部10課制に
昭和48. 3	県議会にて、第3県立図書館整備議決(昭和48・49年度の2か年継続事業)
昭和48.11. 1	埼玉県立図書館管理規則の一部改正により、浦和図書館が4部1室10課、熊谷図書館が3部7課制に
昭和49. 4. 1	川越市役所内に開設準備室発足(職員7人)
昭和49. 6.14	川越図書館開設準備室を川越市民会館に移転
昭和49. 8. 2	川越図書館、建設用地の測量及び基礎杭打工事着工
昭和49.10.12	川越図書館、建物主体工事着工

昭和50. 4. 1	開設準備室を開設準備事務所に改める(職員20人) 浦和図書館文書部が埼玉県立文書館として分離独立、浦和図書館は3部1室8課制に 熊谷図書館の職員定数1人減員で39人
昭和50. 5.21	やまびこ図書館設置(寄居町風布外)
昭和50. 5.30	熊谷図書館、国立国会図書館の図書館外貸出加入
昭和50. 6.30	川越図書館、建物主体工事完成
昭和50. 7. 1	新図書館開設準備事務所を川越市民会館から新館に移転
昭和50. 7.22	川越図書館、視覚障害者サービスの朗読者養成講習会開始
昭和50. 8.11	川越図書館、障害者に対する図書館利用の説明会開催
昭和50. 8.31	川越図書館、車庫・自転車置場・外構及び造園工事完成
昭和50.10. 1	埼玉県立図書館設置条例、同管理規則が改正され、埼玉県立川越図書館設置(組織3部8 課制、館長以下職員24人)、開館式典及び記念事業を挙げる
昭和50.10. 1	熊谷図書館、自転車置場増設
昭和50.10.31	川越図書館、開館式典及び記念事業を挙げる
昭和50.11. 7	川越図書館、奉仕業務開始(貸出閲覧室、母親子ども読書室及び朗読室の奉仕活動を開始)
昭和51. 1. 8	川越図書館積層書庫(1・2層)工事完成
昭和51. 3.10	熊谷図書館、自転車・歩行者専用門新設
昭和51. 4. 1	川越図書館で視聴覚奉仕事業を開始
昭和51. 4	浦和図書館で協力車運行開始(北足立・埼玉葛、入間の2コース)
昭和51. 6.24	川越図書館協議会委員委嘱
昭和51. 7.30	川越図書館で調査相談室奉仕事業を開始
昭和51.10. 1	川越図書館で移動図書館巡回開始(入間地域を対象、浦和図書館から移管、移動図書館車の 保管転換を受け「はつかり」号と命名)
昭和51.10. 5	熊谷図書館、貸出閲覧室・母親子ども読書室及び書庫(1・4・5層)内書架の増設
昭和51.12.31	川越図書館、積層書庫(3・4・5層)書架配備
昭和52. 3.31	熊谷図書館で移動図書館車(新車)用度課より保管転換
昭和52. 4. 1	浦和図書館、教育史編纂事業終了に伴い3部8課に 川越図書館の職員定数館長以下38人 川越図書館で比企地域に対し移動図書館等奉仕事業を開始(熊谷図書館から移管) 熊谷図書館の職員1人減員で38人
昭和52. 8. 3	川越図書館、移動図書館車・新車購入、保有台数2台となる
昭和52. 8.30	熊谷図書館、書庫(2・3層)内書架の増設
昭和52. 9	県議会で、第四図書館の調査設計費が補正予算として上程
昭和53. 3.25	熊谷図書館、駐車場整備
昭和53. 4. 1	埼玉県立第四図書館(仮称)準備委員長ほか2人発令(社会教育課内)
昭和53. 6.23	埼玉県教育委員会教育長と久喜市長との間で「図書館建設の覚書」交換
昭和53. 7.20	熊谷図書館、ヘッドホン室増設
昭和53. 7.28	埼玉県立第四図書館(仮称)建設工事着工
昭和53.10. 1	埼玉県立第四図書館開設準備室の設置(久喜高等学校内)職員4人増員で7人
昭和54. 4. 1	埼玉県立久喜図書館準備事務所の設置(久喜高等学校内)、庶務課、奉仕計画課、資料課 の3課制、職員11人増員で18人
昭和54. 4. 1	埼玉県立図書館文化事業の開始
昭和54. 7. 1	埼玉県立図書館運営基本方針(案)検討開始
昭和54. 7.10	久喜図書館で視覚障害者サービスの朗読奉仕ボランティア養成講座開始
昭和54.10. 1	久喜図書館に職員6人増員で24人
昭和54.10. 8	図書館建物完成引き渡し、久喜高等学校から準備事務所を移転
昭和54.12. 1	久喜図書館に職員1人増員で25人
昭和54.12	埼玉県立図書館復刻叢書(第1巻「三峯紀行艸」)刊行開始
昭和55. 1.10	久喜図書館、外構工事完成引渡し
昭和55. 1.16	熊谷図書館、身体障害者利用対策として、スロープ、表玄関の自動化及びトイレ等の改造
昭和55. 3.28	熊谷図書館、ブックポストの設置
昭和55. 3.29	埼玉県立図書館設置条例改正

昭和55. 3.31	久喜図書館、植栽工事完成引渡し
昭和55. 4. 1	久喜図書館に職員7人増員で32人
昭和55. 5	図書館法施行30周年記念式典挙行
昭和55. 6. 1	埼玉県立図書館設置条例・埼玉県立図書館協議会条例及び埼玉県立図書館管理規則改正、埼玉県立久喜図書館設置(3部7課制)
昭和55. 6. 2	久喜図書館開館式典挙行
昭和55. 6. 3	久喜図書館業務開始(子ども室、一般公開図書室及び朗読室の奉仕業務を開始)
昭和55. 6.21	久喜図書館で文化事業「児童奉仕ボランティア養成講座」開始
昭和55. 6.26	久喜図書館協議会委員委嘱
昭和55. 9. 1	久喜図書館玄関前排水溝工事完成
昭和55. 9.13	移動図書館発足30周年記念式典挙行
昭和55.10. 1	久喜図書館の職員1人増員で33人
昭和55.10.31	久喜図書館、館内階段手摺工事完成
昭和55.11	埼玉県社会教育委員会議より「埼玉県立図書館運営体制の整備について」助言
昭和56. 3.23	久喜図書館で移動図書館車新規購入
昭和56. 3.31	移動図書館車、浦和図書館から久喜図書館へ保管転換(久喜図書館保有台数2台)
昭和56. 3	浦和図書館の移動図書館車、奉仕対象を転換し協力車へ
昭和56. 4. 1	久喜図書館で移動奉仕課を設置し、3部8課制に、職員定数5人増員で38人
昭和56. 4.10	久喜図書館、移動図書館車巡回開始(前日に発足式、巡回車を「みずほ」号と命名)
昭和56.10.29	第67回全国図書館大会開催(開催地:浦和市 10月29日～10月31日)
昭和57. 3.13	久喜図書館野外読書広場工事完成
昭和57. 3.23	熊谷図書館、収蔵庫増築完成
昭和57. 3.30	久喜図書館、耐震性貯水槽工事完成引渡し
昭和57.10	「県立図書館資料収集方針」策定
昭和58. 4. 1	文書館新築移転、熊谷図書館の職員1人減員で37人、川越図書館の職員1人減員で37人、久喜図書館の職員1人減員で37人
昭和58. 7.16	文書館跡使用開始・埼玉資料室設置
昭和59. 3.13	熊谷図書館、井水から市水に切替工事
昭和59. 3.24	熊谷図書館の3階内装工事・2階屋上防水工事完成
昭和59. 4. 1	久喜図書館の職員1人増員で38人
昭和60. 3	「埼玉県立図書館合同蔵書目録(第1期)」刊行開始
昭和61. 3	埼玉県社会教育委員会議から「情報化社会における本県の図書館情報ネットワークシステムのあり方について(建議)」
昭和61. 3.28	川越図書館、収蔵庫増築完成
昭和61. 4.10	久喜図書館で彫塑「遙か」(齋藤馨氏作)寄贈受入れ
昭和62. 3	「埼玉県立図書館合同蔵書目録(第1期)」完結(書名編4冊、著者名編3冊、分類編3冊、計10分冊) 浦和図書館、移動図書館廃止(一日図書館「むさしの」号廃止)
平成 1. 4. 1	川越図書館の職員1人減員で36人
平成 1.12.28	熊谷図書館、集会室設置・玄関改修
平成 2. 1	「埼玉県立図書館合同蔵書目録(第2期)」刊行開始
平成 2. 2	埼玉県社会教育委員会議から「生涯学習社会における埼玉県立図書館の今後の在り方について」建議
平成 2. 3.22	久喜図書館、収蔵庫増築工事完成
平成 2. 4. 1	川越図書館の職員1人増員で37人
平成 2.10.31	熊谷図書館、車庫屋根張替・鑑賞室冷暖房改修・参考調査室書架増設
平成 2.11.26	熊谷図書館、身体障害者利用対策として玄関にインターホン設置
平成 3. 3	「埼玉県立図書館合同蔵書目録(第2期)」完結(書名編2冊、著者名編2冊、分類編1冊、計5分冊)
平成 3.10.23	熊谷図書館に点字ブロックを設置
平成 4. 3	埼玉県立図書館協議会が「本県における図書館活動振興方策―図書館未設置町村の解消について」答申
平成 4. 3	図書館紀要(創刊号)刊行

平成 4. 4	埼玉県立図書館合同蔵書目録のCD-ROM化による情報提供システム開発開始
平成 4. 4.10	熊谷図書館、階段の手摺取付
平成 5. 4. 1	川越図書館の職員1人減員で36人
平成 5.11.29	熊谷図書館、こども読書室出入口改修
平成 6. 4. 1	川越図書館から熊谷図書館へ移動図書館業務を移管
平成 6. 4. 1	図書分野別分担収集を開始
平成 6. 4. 7	熊谷図書館、点字案内板設置
平成 7. 3.29	久喜図書館、屋外環境整備工事完成
平成 7. 3	埼玉県立図書館合同蔵書目録CD-ROM版「彩-BISC」刊行
平成 7. 3	「埼玉県立中央図書館(仮称)基本構想に関する調査検討委員会報告」
平成 7. 9	埼玉県立図書館協議会から「将来展望にたつて県立図書館はどうあればよいかについて」答申
平成 8. 1	「埼玉県立中央図書館(仮称)基本構想報告」
平成 8. 3	浦和図書館、地下1階車庫を書庫に改修
平成 8.10.11	熊谷図書館、1階点字ブロック張替
平成 8.12.12	熊谷図書館、空調設備改修
平成 8.12	浦和図書館、冷暖房設備改修工事実施
平成 9. 3	「埼玉県立中央図書館(仮称)基本計画」
平成 9. 3	浦和図書館、駐輪場、ホール等改修工事実施
平成 9. 4. 1	収書・整理業務を浦和図書館へ集中一元化、久喜図書館の移動図書館業務を熊谷図書館へ移管 浦和図書館は職員9人増員で46人、熊谷図書館は3人減員で34人、川越図書館は2人減員で34人、久喜図書館は5人減員で33人
平成 9. 7	書誌データ入力システム稼働
平成 9.10.29	4館内にOPAC設置
平成10. 3.16	久喜図書館の子ども室出入口自動ドア工事完成
平成10. 7. 1	文部省の委嘱事業として、久喜図書館で養護学校等との連携による図書館活動実施(～11年3月31日)
平成11. 3.31	熊谷図書館の特許公報類閲覧所指定解除
平成11. 4.1	管理規則の一部改正により祝日等の開館及び閉館時間の延長
平成11.10	埼玉版ISBN総合目録稼働(埼玉県図書館協会事業)
平成11.11	埼玉県立図書館ウェブサイト開設
平成11.12	蔵書管理コンピュータ化事業に着手
平成12. 4. 1	資料搬送業務の外部委託実施に伴い、組織運営体制を見直し浦和図書館は1人減員で45人、久喜図書館は1人減員で32人
平成12. 5. 6	「埼玉県立図書館資料収集方針」策定
平成13. 3	「埼玉県立図書館の今後の在り方について(報告)」
平成13. 4. 1	資料搬送業務の外部委託実施に伴い、組織運営体制を見直し熊谷図書館は1人減員で33人、川越図書館は1人減員で33人
平成14.10	貸出手続確認装置導入
平成14.10	「県立社会教育施設再編整備計画」策定(埼玉県教育委員会)
平成14.12.20	県議会で「埼玉県立図書館設置条例及び埼玉県立図書館協議会条例の一部を改正する条例」議決、川越図書館の廃止が決定
平成15. 3.24	熊谷図書館の子ども読書室玄関前スロープ設置
平成15. 3.26	県立図書館コンピュータシステム稼働(利用券共通化、図書貸出の上限変更、蔵書検索・予約のオンライン化)
平成15. 3.31	川越図書館廃止
平成15. 4. 1	県立図書館再編に伴う管理規則の全部改正により、組織改正、グループ制へ移行(浦和図書館は川越分室の職員を含み58人、熊谷図書館は4人増員で37人、久喜図書館は7人増員で39人。県立図書館3館体制)
平成15. 4	県内市町村立図書館からのインターネット経由での蔵書予約開始
平成15. 9. 8	資料移動作業のため休館(～10月20日)
平成15.10.21	リニューアル・オープン(分野別専門館、CD・ビデオの利用時間延長、貸出手続確認装置の導入)

平成15.11	個人利用者からのインターネット経由での蔵書予約開始
平成16. 2. 1	図書館指標策定のための「利用者アンケート」実施(～2月7日)
平成16. 3. 6	国立国会図書館レファレンス協同データベース実験事業に参加
平成16. 4. 1	熊谷図書館は1人減員で36人、久喜図書館は1人減員で38人
平成17. 3.28	県立図書館と埼玉大学図書館との間で相互協力協定を締結
平成17. 3	埼玉県立図書館協議会から「埼玉県立図書館の振興方策について」建議
平成17. 4. 1	浦和図書館は2人減員で45人、熊谷図書館は1人減員で35人、久喜図書館は1人減員で37人
平成17. 4. 1	浦和図書館で行政支援サービスを開始
平成17. 4. 1	久喜図書館に子ども読書支援センターを開設
平成17. 7.12	「お客様アンケート」実施(～7月18日)
平成17.12.15	国立国会図書館レファレンス協同データベース事業で埼玉県のレファレンス事例を一般公開
平成18. 3.27	県立図書館と県立大学情報センターとの間で相互協力協定を締結
平成18. 3	埼玉県内公立図書館等横断検索システムが稼働
平成18. 3	移動図書館業務を廃止
平成18. 4. 1	熊谷図書館は2人減員で33人、久喜図書館は1人減員で36人
平成18. 7	埼玉県立図書館サービス評価指標数値目標策定・公開
平成18.10	「文字・活字文化の日」記念事業開催 埼玉県立図書館協議会から「県立図書館の子どもの読書活動推進に係る提言」
平成19. 2. 2	「利用者アンケート」実施(～2月4日) 以後毎年度実施
平成19. 4. 1	浦和図書館は3人減員で42人、熊谷図書館は1人増員で34人、久喜図書館は1人減員で35人
平成19. 4. 1	協力車の運行を熊谷図書館に一元化
平成19.10.27	「図書館と県民のつどい埼玉2007」(第1回)開催(会場:さいたま市民会館うらわ 参加者:延べ696名)
平成20. 2.29	熊谷図書館駐車場用地として、管財課から所管換えにより1,150㎡を取得
平成20. 3	県立図書館コンピュータシステム更新(第2次)
平成20. 4. 1	浦和図書館は1人減員で41人、熊谷図書館は1人減員で33人、久喜図書館は1人減員で34人
平成20.10	埼玉県立図書館協議会から「市町村立図書館等との連携協力に係る提言」
平成20.11. 1	「図書館と県民のつどい埼玉 2008」(第2回)開催(会場:さいたま市民会館うらわ 参加者:延べ1,513名)
平成21. 1.29	レファレンス事例提供数全国一位で国立国会図書館から礼状
平成21. 1	管理規則の改正により1月4日開館
平成21. 2	埼玉県立図書館ライフチャンスライブラリー化基本計画策定委員会から、「県立図書館のライフチャンスライブラリー化に向けて(提言)」
平成21. 6.25	関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会開催(～6月26日)
平成21.10.30	第21回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」の生涯学習見本市に参加(～11月3日)
平成21.10. 3	久喜図書館に健康・医療情報コーナーを開設
平成21.11.28	「図書館と県民のつどい埼玉 2009」(第3回)開催(会場:浦和コミュニティセンター 参加者:延べ1,730名)
平成22. 6.26	「図書館はこんなに役に立つ～国民読書年記念・図書館を活用する県民のつどい～」開催
平成22. 9. 1	障害者サービスの対象を学習障害や肢体障害等に拡大
平成22.10. 2	「国民読書年記念・図書館と県民のつどい埼玉2010」(第4回)開催(会場:さいたま市文化センター 参加者:延べ1,751名)
平成23. 3.12	東日本大震災の影響により、久喜図書館で復旧作業のため2日間の臨時休館(～3月13日)
平成23. 3.15	東日本大震災の影響により、3館臨時休館
平成23. 7. 7	ブログでの情報発信開始
平成23.10. 4	「はたらく気持ち応援フェア～きっかけは図書館から～」開催(浦和館:10月4日～11月4日、熊谷館:11月8日～11月14日、久喜館:11月22日～11月27日)
平成23.11. 5	「図書館と県民のつどい埼玉2011」(第5回)開催(会場:桶川市民ホール・さいたま文学館 参加者:延べ1,598名)
平成24. 3.27	公衆無線 LAN の利用サービス開始

平成24. 9. 1	埼玉県・さいたま市共同企画展示「自慢したい風景」開催(～9月16日)
平成24.12. 2	「図書館と県民のつどい埼玉2012」(第6回)開催(会場:桶川市民ホール・さいたま文学館 参加者:延べ1,842名)
平成25. 4. 1	図書、雑誌及びCD郵送サービス開始
平成25.10. 1	非来館者を対象とする「ウェブアンケート」実施(～10.31) 以後、H27.H30を除く毎年度実施
平成25.12. 1	「図書館と県民のつどい埼玉2013」(第7回)開催(会場:桶川市民ホール・さいたま文学館 参加者:延べ1,694名)
平成26. 1.25	上里町立図書館で埼玉県立図書館「図書館活用講座ー図書館を使いこなすー」開催
平成26. 3. 1	久喜図書館の「健康・医療情報コーナー」に「がん情報コーナー」「妊活情報コーナー」新設
平成26. 3	県立図書館コンピュータシステム更新(第3次)
平成26. 4	埼玉県立図書館運営の基本方針改訂
平成26. 7.24	国立国会図書館の「国立国会図書館デジタル化資料提供サービス」に参加
平成26.10.28	巡回資料展示「なつかしい埼玉の風景」を久喜図書館(10月28日～11月3日)、宮代町立図書館(11月6日～9日)、飯能市立図書館(11月13日～16日)で開催
平成26.10	新県立図書館在り方検討有識者会議から「新県立図書館の在り方について」提言
平成26.12.14	「図書館と県民のつどい埼玉2014」(第8回)開催(会場:桶川市民ホール・さいたま文学館 参加者:延べ2,389名)
平成26.12.19	県議会で「埼玉県立図書館設置条例及び埼玉県立図書館協議会条例の一部を改正する条例」可決、浦和図書館の廃止決定
平成27. 3. 1	企画展「浦和文化の風景ー県立図書館と埼玉会館」開催(会場:埼玉会館第一、第二展示室 ～3月6日)
平成27. 3. 7	国立国会図書館の「歴史的音源の配信提供」に参加
平成27. 3.14	企画展「さようなら県立浦和図書館」開催(会場:浦和図書館2階ロビー ～3月31日)
平成27. 3.16	耐震改修工事のため久喜図書館休館(～27年5月15日)
平成27. 3.31	浦和図書館廃止
平成27. 4. 1	浦和図書館廃止に伴い、組織改正(熊谷図書館は浦和事務室の職員を含み5人減員で69人、久喜図書館は34人)
平成27. 6. 4	久喜図書館の「健康・医療情報コーナー」に「見て・聴いて・感じる読書コーナー」新設
平成27. 6.11	埼玉県立図書館管理規則が改正され熊谷図書館浦和分室開室
平成27.11. 4	改修工事及び資料移動作業のため熊谷図書館休館(～28年3月22日)
平成27.12.13	「図書館と県民のつどい埼玉2015」(第9回)開催(会場:さいたま市民会館うらわ 参加者:延べ1,408名)
平成28. 3.23	熊谷図書館リニューアル開館(埼玉資料室、ビジネス支援室を開設、図書館協力棟、資料管理棟増設)
平成28. 4. 1	浦和事務室閉室に伴い、組織改正(熊谷図書館は9人減員で60人、久喜図書館は34人)
平成28.10.14	ツイッターでの情報発信開始
平成28.12.18	「図書館と県民のつどい埼玉2016」(第10回)開催(会場:北本市文化センター 参加者:延べ1,479名)
平成29. 4. 1	組織改正(熊谷図書館は1人減員で59人、久喜図書館は34人)
平成29. 6. 1	文書館大規模改修工事に伴い、浦和分室休室(～10月31日)
平成29.10. 2	「ビジネス・ライブラリアン講習会埼玉版」(共催:ビジネス支援図書館推進協議会)を開催(10月2日、11月24日、12月11日、1月29日)
平成29.11. 1	浦和分室、仮施設にてサービス再開(～30年10月31日)
平成29.11.28	関東・甲信越静地区図書館地区別研修開催(埼玉会館、近代美術館 ～12月1日)
平成29.12.17	「図書館と県民のつどい埼玉2017」(第11回)開催(会場:桶川市民ホール・さいたま文学館 参加者:延べ1,999名)
平成30.11.25	「ウィキペディアタウンin熊谷」開催
平成30.11. 1	文書館大規模改修工事に伴い、浦和分室休室(～4月1日)
平成30.12.16	「図書館と県民のつどい埼玉2018」(第12回)開催(会場:北本市文化センター 参加者:延べ3,013名)
平成30. 12	県立図書館コンピュータシステム更新(第4次)、埼玉県内公立図書館等横断検索システム更新
平成31. 4	埼玉県立図書館運営の基本方針改訂
平成31. 4. 2	浦和分室、サービス再開
令和 1. 6.28	久喜図書館の「健康・医療情報コーナー」に「認知症情報コーナー」新設

令和 1. 7. 2	「関東地区公共図書館協議会 総会・研究発表大会」開催(ホテルブリランテ武蔵野 ～7月3日)
令和 1.12.15	「図書館と県民のつどい埼玉2019」(第13回)開催(会場:桶川市民ホール・さいたま文学館 参加者:延べ3,457名)
令和 2. 2.29	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(～2年5月31日)
令和 2.10. 1	「埼玉サーチ」公開
令和 2.12.14	「図書館と県民のつどい埼玉2020」(第14回)会場開催中止、オンライン公開(～3年1月11日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(～3年3月22日)
令和 3.12.11	「図書館と県民のつどい埼玉2021」(第15回)オンライン開催(～4年1月10日)
令和 4. 3.30	新しいタイプの図書館検討有識者会議から「新しいタイプの図書館検討有識者会議(議論のまとめ)」公開
令和 4. 4	埼玉県立図書館運営の基本方針改訂
令和 4. 7.28	デジタル行政資料のウェブOPACでの公開開始
令和 4.10. 8	「あれから、百年 埼玉県立図書館百周年記念資料展」開催(熊谷館:10月8日～11月6日、県庁渡り廊下:10月12日～11月4日、久喜館:11月12日～12月18日、文書館:12月13日～5年2月12日)
令和 4.12.10	「図書館と県民のつどい埼玉2022」(第16回)オンライン開催(～5年1月31日)

備考 昭和47年10月までは『埼玉県立浦和図書館50年誌』第4編 年譜から再掲(一部修正あり)